

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ

令和3年7月

浜田市が目指す将来像

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田

～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にすまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第2次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、各種施策に取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

- I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち
- II 健康でいきいきと暮らせるまち
- III 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち
- IV 自然環境を守り活かすまち
- V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち
- VI 安全で安心して暮らせるまち
- VII 協働による持続可能なまち

このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

※元号は平成31年4月までを「平成」として記載しています。

【総務部行財政改革推進課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度						
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価					
1	市有財産の活用	遊休財産の処分等による財源確保	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産活用方針等の策定 <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産活用方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ①方針の検討、策定(4~5月) ②議会報告・公表(6月) (2)市有財産売却計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ①当面5年間の売却計画を策定(4~5月) ②議会報告・公表(6月) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産売却計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産売却計画の改訂 <ul style="list-style-type: none"> ①売却物件の検討、調整(4~7月) ②売却計画改訂版案の作成(6~11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(12月) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産売却計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産売却計画の改訂 <ul style="list-style-type: none"> ①売却物件の検討、調整(4~6月) ②売却計画改訂版案の作成(7月) ③売却計画改訂版の決定、公表(9月) 	○	○			
				<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募(5件) <ul style="list-style-type: none"> ・旧原井小プール跡地(11月売却) ・旧七条一般住宅(10月売却) ・旧熱田住宅跡地(10月売却) ・旧那賀会館跡地(来年度以降に見送り) ・旧城北住宅(11月売却) ・旧旭ヶ丘教職員住宅(2月売却) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旧給食センター跡地(3月売却) ・旧那賀会館跡地(3月売却) (2)その他物件の売却 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旭インター周辺用地(道路整備工事が必要なたため土地開発公社へ売却) ・上神代屋住宅(民法改正に伴い売却方法を見直すため、延期) ・岡見住宅団地2区画(1月売却) (2)その他物件の売却 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) 	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旧長浜市営住宅跡地 ・上神代屋住宅 (2)その他物件の売却 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) 	○	△
				<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)公募の実施・事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ①募集方法の検討(4月~9月) <ul style="list-style-type: none"> ・貸付料算定方法の見直し ・プロポーザル方式ルールの検討 ②募集物件と解体物件の選考 	×	△	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)利活用物件の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・利活用物件と解体物件の決定(12月) (2)利活用物件の事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の募集、選定(随時) ⇒1事業者決定 	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)利活用物件の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・利活用物件と解体物件の決定(12月) (2)利活用物件の事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の募集、選定(随時) ⇒1事業者決定 	○	△			
		<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 利活用策検討のため公募は中止 		△		<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 廃校利活用については、解体方針決定等により積極的な利活用は難しい状況。今後は市有財産の売却に専念する。 									

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部防災安全課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
2	災害に強いまちづくり	住民の防災意識の向上	○	○	○	○	○	○	○	○
		実施した内容	○ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの作成 ・L2津波の浸水想定区域における津波ハザードマップの作成、配布(3月) ・啓発(出前講座)、津波避難誘導版の設置準備(ハザードマップ作成後に計画していたため未実施) (2)土砂災害ハザードマップの作成 ①島根県との情報共有 ・島根県がレッドゾーン指定(平成31年4月) ・島根県が想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域を見直し(令和元年度中) ②指定区域の見直しに伴うハザードマップの更新 ・令和2年度末頃完成、配布予定		○ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・出前講座による周知啓発(年間155回) ・ケーブルテレビによる周知啓発(5月) ・津波避難誘導版の設置準備(海抜表示版更新と一体的に検討することとしたため、未実施) (2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成準備(令和2年度末頃完成、配布予定) ・県によるレッドゾーン指定(4月) ・県による想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域の見直し(3月) ・啓発学習のコンテンツ作成準備 ・ハザードマップ仕様の検討		○ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海抜表示版及び津波避難誘導版の更新準備(設置現況を精査し、次期設置場所の検討を実施) (2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成及び周知 ・県による想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域の公表(6月) ・ハザードマップの作成・配付(3月) ・洪水及び土砂災害に関するケーブルテレビでの周知啓発(8月)		○ハザードマップの周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海抜表示版及び津波避難誘導版の更新準備(次期設置場所と表示内容の検討) (2)洪水・土砂災害ハザードマップの周知 ・広報はまだによる周知啓発(6月) ・洪水・土砂災害ハザードマップに関するケーブルテレビでの周知啓発(6月) ・出前講座による周知啓発(マイタイムラインの作成)	
		自主防災組織の拡大		△		○			△	
		実施した内容	○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対して町内会単位での設立を含めて設立を促進 ・出前講座による啓発 ・避難先、訓練方法等の検討 ⇒浜田市まちづくりフォーラムで防災訓練等の事例紹介(3月) (浜田公民館、都川地区自主防災部会)		○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する補助事業活用支援や啓発等を実施し、第1期は、新たに4団体が組織化 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動メニューに係る指導・助言を実施		○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等)新たに6団体が組織化 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言 ⇒新型コロナウイルスの影響により、当初想定より進まなかった。		○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等) ・既設自主防災組織の強化(防災士養成支援) ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言	

【地域政策部地域活動支援課、健康福祉部地域福祉課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			評価	総合評価				
7	敬老福祉乗車券制度の推進	敬老福祉乗車券の制度周知及び利用促進	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○敬老乗車券制度の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)制度の再構築に向けた協議 <ul style="list-style-type: none"> ①福祉施策と公共交通施策との融合 <ul style="list-style-type: none"> 現行の <ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー券(障がい者)、 ・敬老乗車券(高齢者) に加え、その他交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討 福祉タクシー利用券・いきいきバス乗車券(障がい者)と敬老乗車券(高齢者)を融合した敬老福祉乗車券制度を再構築 (2)再構築制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はまだ、ホームページ、ケーブルテレビ等で周知 	○	○	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○敬老福祉乗車券制度の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)制度の再構築に向けた協議(4~9月) <ul style="list-style-type: none"> ①福祉分(障がい者)と公共交通施策(高齢者)それぞれの実績に基づく実態把握 ②上記①の実態把握を踏まえ、交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討 (2)再構築制度の周知(1~3月)

【地域政策部地域活動支援課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度			
			評価	総合評価		評価	総合評価				
8	公共交通の再編	より使い易い地域公共交通体系への再編	実施した内容	項目なし	項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の再編 <ul style="list-style-type: none"> (1)公共交通ネットワークの再構築 <ul style="list-style-type: none"> ①市生活路線バス・市予約型乗合タクシーの契約更新(令和3年度)に向けた交通手段の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議において運行計画承認(11月) ・各路線・地区の運行事業者の選定(1月) ・地元周知及び事業者との打合せ(2~3月) ・令和3年4月から運行開始 ②タクシーを活用した、ドアトゥドア型の新たな交通手段の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒引き続き、調査・研究し、制度構築を目指す ③市予約型乗合タクシーの充実 <ul style="list-style-type: none"> ①と併せて実施 (2)民間バス路線廃止に伴う代替交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> ①樺田原線 ②今市線 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域公共交通会議において運行計画承認(8月) 運行開始(12月) (3)1日乗車券の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒令和3年10月からの販売開始に向けて、石見交通㈱から承諾を得た 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の再編 <ul style="list-style-type: none"> (1)公共交通ネットワークの再構築 <ul style="list-style-type: none"> ①タクシーを活用したドアトゥドア型の新たな交通手段の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び事業者との意見交換 ・事業開始(年度中)に向けた検討 (2)1日乗車券の販売開始(10月~) <ul style="list-style-type: none"> ①石見交通との協議 ・利用可能区間の設定及び料金の決定 ②住民及び観光客への周知 ③周遊プランの検討及び周知 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学との共同研究でモデルコース等を検討 ・チラシ等を作成して周知

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部健康医療対策課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
9	在宅支援体制等の充実	地域包括支援センターの運営方針の見直し		△		△		○	計画	運営方針に沿って実施
		実施した内容			実施した内容					

項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
10	まちをあげた市民の健康づくり	健康なコミュニティの仕組みづくり	○	○	○	△	○	△	計画	
		実施した内容			実施した内容					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部子育て支援課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度						
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価					
11	子どもを安心して産み育てる環境の充実	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援センターの整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 検討委員会において子育て支援センター基本構想の提案(7月) <ul style="list-style-type: none"> ・施設の基本方針、目的・役割、目指す効果について提案 (2) 市において子育て支援センター基本構想の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・整備場所が決定した段階で、市の基本構想を策定することとした 	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援センターの整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子育て支援センター基本構想の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・議会との意見交換(8月) ・整備場所の決定(9月) ・基本構想案の策定(11月) ・パブリックコメント(12月) ・基本構想の策定(1月) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代包括支援センターの整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子育て世代包括支援センターの実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・委託契約締結(5月) ・実施設計(～3月) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代包括支援センターの整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子育て世代包括支援センターの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・入札(6月) ・契約締結(6月) ・建築工事(～3月) 			
			<ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブの運営の民間委託 <ul style="list-style-type: none"> (1) 民間委託実績のある事業者等からのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託実績のある事業者から、定期的に情報収集を実施 (2) 先進地等の事例の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者から、先進地の事例について情報収集を実施 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブの運営の民間委託 <ul style="list-style-type: none"> (1) 放課後児童クラブの民間委託(1か所程度)の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への説明(9月) ・プロポーザルの実施(11月) ・委託業者決定(11月) ・委託契約締結(3月) ・条例改正等提案(3月) <ul style="list-style-type: none"> ⇒委託業者と協議中のため、令和2年6月に延期 		○	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブの運営の民間委託 <ul style="list-style-type: none"> (1) 放課後児童クラブの民間委託(1か所程度)の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・条例改正等提案(6月) ・保護者への説明(7月) ・民間委託開始(10月) (2) 他の放課後児童クラブの運営方針を検討し、方針決定 <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託した放課後児童クラブの運営状況を確認しながら、他の放課後児童クラブの方針を決定 <ul style="list-style-type: none"> ⇒詳細な時期については今後協議予定 	○	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブの運営の民間委託 <ul style="list-style-type: none"> (1) 放課後児童クラブの民間委託(2か所程度)の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託実績のある事業者等から、情報収集を実施 		
			項目なし			項目なし			<ul style="list-style-type: none"> ○病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 病児・病後児保育室、休日応急診療所の実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・議会への方針説明(5月) ・補正予算上程(6月) ・委託契約締結(8月) ・実施設計(～3月) 			○	<ul style="list-style-type: none"> ○病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備及び事業開始 <ul style="list-style-type: none"> (1) 病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・入札(6月) ・契約締結(6月) ・建築工事(～12月) ・病児・病後児保育実施(1月～) 		
			項目なし			項目なし			<ul style="list-style-type: none"> ○多子誕生(第3子以降)応援事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第3子以降の未就学児童、就学児童を対象とした応援事業の検討(～10月) <ul style="list-style-type: none"> ⇒浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス(案)として公表(12月) ・第3子以降出産祝い金(令和3年4月に新生児子育て応援金に制度変更)、保育料無償化、保育所等給食費無償化 			○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 方針に沿った事業実施 </div>		
			項目なし			項目なし			項目なし				<ul style="list-style-type: none"> ○出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の協議、検討(～9月) ・事業の実施(10月～) 		

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【市民生活部環境課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
12	地球温暖化対策	2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現								
		実施した内容	項目なし		実施した内容	項目なし		実施した内容	項目なし	
										計画 ○新組織設置の検討 (1)準備室の設置 (2)(仮称)カーボンニュートラル推進室の設置(令和4年4月～) ○カーボンニュートラルの推進 (1)脱炭素先行地域(全国100所)への応募 (2)市有施設における再エネ・省エネ設備等の導入推進(10月～) (3)再エネ・省エネに係る補助金制度拡充の検討(10月～) (4)民間(企業、個人)における再エネ・省エネの推進策の検討(10月～) ○庁内推進本部の構築 (1)推進本部の設置(令和4年3月～) (2)推進本部・専門部会の設置(令和4年3月～) ※公共施設部会、事業活動部会、市民協働部会など (3)専門家による意見・助言

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部商工労働課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
13	BUY浜田運動	BUY浜田運動の浸透及び定着		実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画
			○	△	○	△	△	○	△	△

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度								
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価							
14	事業承継・創業支援対策	事業承継の推進 ・事業承継相談カルテを200社作成(令和3年度までの累計)	○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口の開設(5月) 【場所】 浜田商工会議所、石央商工会 【役割】 ①事業承継に関する相談 ②事業譲渡の相談 ③譲渡先の紹介や創業を目指す起業家とのマッチング 【体制】 商工団体、金融機関等と連携し、事業譲渡や創業の情報を収集できる体制の構築 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 ・浜田商工会議所 22件(3月末) ・石央商工会 23件(3月末) ⇒後継者不足に対応するため外部人材の確保など第三者承継の推進が必要	△		○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 ・36社(3月末) (2) 浜田市事業承継推進会議の開催(4月、11月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 (3) 事業承継セミナーの開催 ・商工団体を中心となって開催(浜田市事業承継推進会議が後援) ・現経営者向けセミナー(9月) ・後継者育成セミナー(11月) ・経営戦略構築セミナー(1月) (4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・後継者を希望する地域おこし協力隊員の募集及び決定 募集: 4月～12月 決定: 2名(令和2年4月以降活動開始) ・後継者を探している事業所の募集 市内7社(小売業、運送業、宿泊業、飲食業)において協力隊員の受入れ検討中。 協力隊員の活動開始後、募集予定 ②料理人等人材育成支援事業 ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集及び決定 募集: 6月～2月 決定: 1名(令和2年4月以降に活動開始) ・料理人が不足している飲食店、旅館等の募集(5月～1月) ・料理専門学校等との協定締結 ⇒タブチ学園(松江栄養調理製菓専門学校)と協定締結(7月)	△		○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 ・9社(3月末) ・コロナ支援対応によりカルテ作成が進まなかった (2) 浜田市事業承継推進会議の開催(8月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 ・相談カルテの有効活用が不十分だった (3) 事業承継セミナーの開催 ・商工団体を中心となって開催(浜田市事業承継推進会議が後援) ・後継者育成セミナー(1月) (4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・協力隊員と事業所のマッチング支援 商工団体、金融機関等と連携して実施 委嘱日: 5月～(1名)、9月～(1名) ・後継者を探している事業所の募集 市HP、商工団体の会報等で周知 現在、ショートインターンによる事業所内研修 ②料理人等人材育成支援事業 ・飲食店、旅館等における協力隊員の活動支援 委嘱日: 4月～3月(1名) ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集(追加1名) 応募2名中、合格1名としたが、採用辞退されたため、令和2年度は採用なし	△		○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 (2) 浜田市事業承継推進会議の開催(4月、11月) 【構成機関】 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 (3) 事業承継セミナーの開催 ・商工団体を中心となって開催(浜田市事業承継推進会議が後援) ・現経営者向けセミナー(9月、11月) ・後継者育成セミナー(9月) ・後継者への意識啓発セミナー(9月)	△		○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 (2) 浜田市事業承継推進会議の開催 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 (3) 事業承継セミナー、個別相談会の開催 ・商工団体、金融機関が中心となって実施(浜田市事業承継推進会議が後援) (4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・協力隊員と事業所のマッチング支援 ②料理人等人材育成支援事業 ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集(2名)(7月～) ・料理人が不足している飲食店、旅館等の再募集(5月～)	△	
			実施した内容	実施した内容	実施した内容	計画											
		起業・創業者数の増加 ・年間33件以上	○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催(10～11月) ・計4回実施、参加者15名 ②シニア・若者向けセミナーの開催(12～1月) ・計6回実施、参加者23名 ③資金調達セミナーの開催(9月) ・日本海信用金庫、日本政策金融公庫と連携して開催 ・クラウドファンディング実施者による体験談 ・参加者40名 (2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施(10名) 起業・創業者数: 34件	○		○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8月～9月)、参加者15名 ②シニア・若者向けセミナーの開催 ・6回コース(10月～11月)、参加者23名 (2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施 ・参加者7名 起業・創業者数33件	○		○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(9月～10月)、参加者7名 ②シニア・若者向けセミナーの開催 ・6回コース(10月～12月)、参加者17名 (2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施 ・参加者20名 ・過去の創業者へのフォローアップ 16事業者を訪問 起業・創業者数18件	○		○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催(8～9月予定) ②シニア・若者向けセミナーの開催 (2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施	○				

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部産業振興課】

項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
		評価	総合評価	評価	総合評価		
15 物流改善	市内企業の物流コストの低下による商品競争力(商品価格)の維持	実施した内容	○ △ ○	△ △	実施した内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ○物流の調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> (1)物流調査 <ul style="list-style-type: none"> ・トラック協会へ調査実施(6月) ・商工団体及び情報を必要とする市内企業へ情報提供 (2)既存配送便の活用研究 <ul style="list-style-type: none"> ・有機野菜生産グループの市場便、ルート便の活用を検討 (3)民間企業への働き掛け <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業に地域商社機能を担うよう働き掛け、1社が事業開始(3月) 		<ul style="list-style-type: none"> ○物流の調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> (1)物流調査 <ul style="list-style-type: none"> ・トラック協会へ調査実施(6月) ・商工団体及び情報を必要とする市内企業へ情報提供 (2)既存配送便の活用研究 <ul style="list-style-type: none"> ・浜田から広島への物流について研究を継続 			
					<ul style="list-style-type: none"> 有機野菜生産グループの一部区間について自社配送していたが、既存流通業者へ委託完了 		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部農林振興課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
農林業の振興	農業者の振興	集落営農の推進と担い手確保 ・集落営農の法人化8組織 ・認定農業者8名 ・農業研修生10名 (令和3年度までの累計)	○	△	○	△	○	○	○	○
		農業者所得の向上 ・3果樹の農業産出額2億2千万円(令和3年度) ・組合せ作物の農業産出額2千万円(令和3年度)	○	△	○	△	○	△	○	○
		大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ②入植者の支援 ・TC浜田農場(株)初出荷式(10月)	○	○	○	○	○	○	○	○
		○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標3組織) ・2法人設立 (2)認定農業者育成(目標3経営体) ・3経営体達成 (3)農業研修生の確保(目標3名) ・2名決定(平成31年4月から)	△	○	△	○	△	○	○	△
		○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標2組織) ・2組織法人化協議中(2年3月現在) (2)認定農業者育成(目標3経営体) ・5経営体(個人3件、法人2件) (3)農業研修生の確保(目標3名) ・2名決定(元年10月及び2年4月から)	△	○	△	○	△	○	○	△
		○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標3組織) ・法人化:1組織 ・連携協議会の設立:1地区 ・広域連携への取組:5地区 (2)認定農業者育成(目標3経営体) ・新規:1経営体 ・検討中:2経営体 ・新規認定就農者:1経営体 ・育成研修会の実施 (3)農業研修生の確保(目標3名) ・3名決定	○	○	○	○	○	○	○	○
		○農地集積と担い手対策 (1)広域連携への取組 ・広域連携協議会の設立:2地区 ・広域連携への検討:2地区 ・地域間連携:1モデル ・農作業の省力化 (2)認定農業者の育成 ・新規認定農業者:3経営体 ・認定農業者協議会設立:1地区 ・研修会の開催 (3)新規就農者の確保 ・農業研修生制度の検討 ・農業研修生:2名 ・新規就農者:3名	○	○	○	○	○	○	○	○
		○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 ①新規経営体等の確保 ・大粒ぶどう 3経営体(新規就農) ・梨 1経営体(経営継承) ・西条柿 1経営体(新規認定農業者) (2)組合せ作物の生産拡大 ①実証圃設置(目標20件) ・11件(キャベツ4件、あすっこ1件、アスパラガス5件、大豆1件) ②組合せ作物の追加 ・なすとインゲンを追加	○	△	○	△	○	△	○	○
		○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 ①大粒ぶどう ・リースハウス整備(2件、5,216㎡) ・加温2重被覆化(4件、5,702㎡) ・農産物総合集出荷施設 ②赤梨 ・ジョイント栽培導入 ③西条柿 ・園地継承について協議中(2名) (2)組合せ作物の生産拡大 ①実証圃設置(目標20件) ・申請件数11件 キャベツ6件(5,230㎡) アスパラガス3件(600㎡) いんげん2件(1,000㎡)	○	△	○	△	○	△	○	○
		○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 ①大粒ぶどう ・リースハウス整備(1件、1,008㎡) ・加温2重被覆化(4件、1,208㎡) ②赤梨 ・ジョイント栽培 ③西条柿 ・低木栽培の導入検討 (2)組合せ作物の生産拡大 ①新規取組農家数の確保(目標10名) ・申請件数:12件 ナス:2件(1,300㎡) アスパラガス:2件(200㎡) インゲン:4件(1,600㎡) あすっこ:4件(700㎡)	○	△	○	△	○	△	○	○
		○振興作物の生産拡大 (1)振興作物の推進 ①大粒ぶどう ・新規就農者の確保 ②赤梨 ・ジョイント栽培への取組 ③西条柿 ・低木栽培への取組 ④有機野菜 ・栽培面積の拡大 (2)組み合わせ作物 ・認定農業者への推進 ・集落営農法人への推進	○	○	○	○	○	○	○	○
		○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ・約5ha農地造成整備中 ②入植者の支援 ・補助事業の新設 ・県と協力した営農支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄(杵束)地区において調査業務実施	○	○	○	○	○	○	○	○
		○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ・ファームボンド等整備 ・農業用水を一部水道水に変更し、収量改善 ②入植者の支援 ・新型コロナウイルス対策事業支援等 ・補助事業の追加 ・県と協力した営農支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄(安城・杵束)地区地元調整実施	○	○	○	○	○	○	○	○
		○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ・農地造成工事 ②入植者の支援 ・土壌改良実証実験、営農支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄地区基盤整備調査業務	○	○	○	○	○	○	○	○

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

16	<p>鳥獣被害額の減少</p> <p>・イノシシ、サルなどによる農作物被害額を平成29年度比30%減少(令和3年度)</p>	実施した内容	<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <p>①ICT檻の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ捕獲 <p>②忌避剤の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忌避剤を散布した結果、被害なし ・EM菌を実施したが、農地へ侵入あり <p>③防護柵の効果的な設置方法の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内12箇所にワイヤーメッシュ防護柵設置 <p>⇒水稲被害額 8,630千円(平成29年度)から 6,851千円(平成30年度)となり、イノシシによる被害約20%減少</p> <p>(2)サル、その他獣類の被害対策</p> <p>①サル用困いわなの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲及び被害なし <p>(3)人材育成・確保</p> <p>①狩猟免許取得者の技術向上</p> <p>②狩猟免許新規取得に対する支援</p> <p>③狩猟免許取得者の増加</p> <p>⇒狩猟免許新規取得者13人</p>	○	○	実施した内容	<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <p>①水稲被害軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度6,851千円⇒元年度7,240千円 <p>②忌避剤の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20箇所実施(短期間では効果有) <p>③防護柵の効果的な設置方法の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8集落で7,806mの柵を設置 <p>(2)クマ、サル、その他獣類の被害対策</p> <p>鳥獣専門員を中心に、市民からの通報に対し、迅速な対応や被害防止に努め、外来種のヌートリアについては、前年比81%増となる96頭を捕獲</p> <p>①クマ、サル対策の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クマの目撃件数178件(30年度154件) ・クマ捕獲数22頭(30年度21頭) <p>②アライグマ・ヌートリア等の特定外来生物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アライグマ捕獲数7頭(30年度9頭) ・ヌートリア96頭捕獲(30年度53頭) <p>(3)人材育成・確保</p> <p>①狩猟免許取得者の技術向上</p> <p>②狩猟免許新規取得に対する支援 18人</p> <p>③狩猟免許取得者の増加 20人</p>	△	○	○	実施した内容	<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <p>①水稲被害軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元年度7,240千円⇒R2年度10,760千円 ・イノシシ有害捕獲数の増加 R元年1,052頭⇒R2年1,628頭(～R2.10) <p>②忌避剤の効果検証</p> <p>イノシシ忌避剤20リットルを被害農家へ配布</p> <p>③防護柵の効果的な設置方法の普及</p> <p>11集落で23,450mの柵を設置</p> <p>(2)シカ被害対策</p> <p>被害や目撃情報増加等がなかった</p> <p>捕獲数:R元年13頭⇒R2年10頭(～R2.10)</p> <p>(3)人材育成・確保</p> <p>狩猟免許新規取得に対する支援 17人</p>	△	○	○	計画	<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害軽減 ・先進事例の導入(美郷バレー等) ・金城町 大元集落において防護柵の試験運用 <p>(2)集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落における被害防止体制の構築 ・鳥獣被害防止モデル集落の選定予定(金城5、旭2、弥栄1) ・里山環境整備の実施 <p>(3)クマ・シカ被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理体制の効率化 <p>(4)人材育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟免許取得者の増 ・捕獲体制の強化
----	--	--------	--	---	---	--------	---	---	---	---	--------	--	---	---	---	----	---

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部水産振興課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
17	水産物の販路拡大 ・新規販路開拓20件(令和3年度までの累計)	水産物の販路拡大	○	○	○	○	○	○	○	○
			△	△	△	△	△	△		
			○	○	○	○	○	○		
水産業の活性化	高度衛生管理型荷さばき所整備 ・7号荷さばき所供用開始(令和2年度) ・4号荷さばき所供用開始(令和5年度)	実施した内容	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○		
賑わいのある集客施設の設置(令和2年度)	賑わいのある集客施設の設置	実施した内容	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○		

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

<p>新たな水産事業の実施</p>	<p>○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①水産事業実施に向けた経営体の形成支援 ・核となる企業への訪問実施 ・関係団体や地元への説明、関係機関との協議 ・講演会の開催(企業との共同研究へ移行したため未実施) ・事業参画希望者を対象とした研究会開催や先進地視察(企業との共同研究へ移行したため未実施) ・企業との陸上養殖についての共同研究協定の締結(3月) ②「渚の交番」建設支援</p>	<p>△</p>	<p>○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究実施 ・関係機関との協議 ・試掘調査業務(県:5月~9月) ②渚の交番設置団体の建設・運営支援</p>	<p>○</p>	<p>○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ②渚の交番設置団体の建設・運営支援 ・建設工事(~6月) ・オープン(7月)</p>	<p>△</p>	<p>○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討</p>
<p>水揚の維持・増大</p>							<p>○地元漁船の維持・存続 (1)地元漁船の存続対策 ①漁業経営体の意向確認 ②新船建造に向けた支援策の検討 ⇒漁業経営体特別応援給付金交付(4/27~6/30) ○地元外漁船の誘致 (1)外来船の誘致 ①JF・市議会と連携した誘致活動 ⇒浜田漁港水揚高確保緊急対策入港奨励金(7/6~)</p>

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価			
18	「ようこそ！浜田」運動の推進	観光資源を活かした宿泊観光客数25万人の達成							
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○おすすめ観光コースとしての、産業観光の商品造成 (1) 広島市内の旅行エージェントと連携し、商品造成を実施 ⇒ 広島市からの誘客実績を持つ市内旅行エージェントと連携し、商品造成を実施(1月～2月) (2) 広島事務所、旅行エージェントと連携したモニターツアーの実施 ⇒ 旅行エージェントと浜田市観光協会と連携したモニターツアーの実施(3月) (3) 産業観光コースの施設見学、協議(9月) ・島根あさひ社会復帰促進センター ・中国電力三隅発電所 ・神楽産業ほか (4) モニターツアーの検証 ・「石見の神楽」日本遺産認定に向けた準備を優先し、検証は延期 	△	△	△			
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○おすすめ観光コースとしての、産業観光の商品造成 (1) モニターツアーの検証 ・平成31年3月に実施したモニターツアーの検証(6月) ⇒ 旅行会社のツアー商品としては、補助金などの支援が無ければ採算が取れない ・立寄地の一つとしてツアーに組み込むことも検討 ・広域的な取組も必要 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>⇒ 今後は単独コースとして商品造成するのではなく、立寄地の一つとしてエージェントに提案。旅行会社が自社の商品として造成する際は、事業者との調整等の支援</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> (2) 旅行エージェントへのツアー提案 ・浜田広域観光事業実行委員会商品造成 ・広島旅行エージェントと提携し、浜田・江津モニターツアー実施(11月) ・江津高野風力発電所 ・やなぎ水産 ・亀谷窯業 ・石見観光振興協議会主催エージェント商談会への参加(2月) ・関東圏の旅行会社10社 (3) 旅行エージェントが企画するツアーへの提案及び支援 ・浜田メイプル牧場 ・神楽産業 ・高度衛生管理型荷さばき所 など ⇒ 旅行エージェントのツアー商品としての催行実績なし 	△	△	○	△		
		実施した内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100%;"> <p>⇒ 旅行エージェントに提案 商品化によるツアー実施の支援</p> </div>						

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
19	石見神楽振興事業	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける東京での神楽上演(令和3年度以降)	○	○	○	○	△	△	○	○
		実施した内容	<p>○2020東京オリンピック・パラリンピックでの上演(以下のいずれかの方法で実施)</p> <p>(1)東京オリンピック・パラリンピックでの上演(以下のいずれかの方法で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体と連携した日本神楽大会(仮称)での上演 ・島根県が企画する公演での神楽上演 ⇒(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行う東京2020 NIPPONフェスティバル共催芸術文化プログラムでの上演を検討 ⇒石見観光振興協議会の企画による神楽上演を検討 <p>(2)他自治体と連携した独自神楽大会(仮称)での上演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市独自の企画による上演を検討 	<p>○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演</p> <p>(1)島根県が企画する公演での神楽上演</p> <p>①石見観光振興協議会の企画による上演が決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靖国神社(令和2年6月) ・神楽坂毘沙門天(令和2年7月) ・東郷神社(令和2年7月) ・富岡八幡宮(令和2年8月) ・ふるさと祭り東京2021(令和3年1月) ・石見神楽文京公演(令和3年2月) <p>(2)浜田市独自の企画による上演</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒石見神楽国立劇場公演が決定(令和2年8月) 	<p>○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演</p> <p>(1)島根県が企画する公演での神楽上演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見観光振興協議会の企画による上演 ・靖国神社(6月8日)東京社中 ・神楽坂毘沙門天(7月9日)東京社中 ・東郷神社(7月16日)いわみ福祉会 ・富岡八幡宮(8月10日～12日) ※浜田は12日を担当(調整中) ・ふるさと祭り東京2021(1月)大田 ・石見神楽文京公演(2月) 益田・吉賀・津和野 <p>⇒ 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に延期</p> <p>(2)浜田市独自の企画による上演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見神楽国立劇場公演(8月25日) <p>⇒ 新型コロナウイルスの影響により中止したため、令和4年度実施に向け再調整。</p>	<p>○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演</p> <p>(1)島根県が企画する公演での神楽上演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の日本遺産関連の補助金を活用して実施予定 				
		日本遺産「石見神楽」の活用	○	○	○	○	○	○	○	○
		実施した内容	<p>○「石見の神楽」日本遺産申請</p> <p>(1)申請ストーリー、構成文化財、振興計画の素案の作成(6月～7月)</p> <p>(2)関係自治体及び神楽に関わる民間事業所との協議(9月～12月)</p> <p>(3)文化庁による事前ヒアリング(8月)</p> <p>(4)日本遺産登録実行委員会の設置と令和元年度認定に向けた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進母体を石見観光振興協議会とした <p>(5)申請書の作成・提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県文化財課へ提出(1月) ・文化庁へ提出(1月) 「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」 	<p>○「石見神楽」日本遺産認定</p> <p>(1)石見観光振興協議会を実施主体とした地域活性化計画の実施</p> <p>令和元年5月20日に日本遺産に認定</p> <p>(2)市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の創設(令和2年度から当面5年間)</p>	<p>○「石見神楽」日本遺産認定</p> <p>(1)石見観光振興協議会を実施主体とした地域活性化計画の実施</p> <p>(2)市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(4～5月) ・選定委員会及び交付決定(6月) ⇒申請団体数:19件(内1件申請取下げ) 採択団体数:9団体 	<p>○「石見神楽」日本遺産認定</p> <p>(1)石見観光振興協議会を実施主体とした地域活性化計画の実施</p> <p>(2)市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(5月10日〆切) ・選定委員会及び交付決定(5月21日) ⇒13団体から申請受付 <p>○浜田市独自の企画による上演</p> <p>(1)石見神楽国立劇場公演(令和4年7月31日予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒劇場手配予約申込済み(令和2年12月) 				

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
21	交流人口増加のための個人来訪者向け施策の展開	外国人観光客の増加		△		△	○		△	△
		実施した内容		実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画
		<p>○外国人旅行者の誘致促進</p> <p>(1) インバウンド対策</p> <p>① 広島からの外国人旅行者の受入体制作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者の動向調査 (モニターツアーでアンケート調査実施) 動画、パンフレット等の作成 (動画は観光協会のもを活用することとしたため未作成、パンフレットは作成) 湯ったり神楽体験バックの売り込み 日帰りインバウンドモニターツアー (未実施) 大阪・広島からの誘客を図るためのインバウンドチラシ作成(2月) <p>② 海外クルーズ船誘致の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員による通訳の実施 国際交流員による英訳浜田マップ作成(5~6月) 国際交流員による英訳観光コースチラシ作成(8、10月) <p>③ 国際交流員を活用した情報発信と外国語パンフレットの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS(英語、ベトナム語、中国語)による情報発信の実施 体験メニュー(扇原茶園での茶摘、ピザ作り)の情報発信 Instagramのアカウント作成 夜神楽情報掲載 各自治区まつりや秋の観光スポット紹介 外国人割引施設の紹介 <p>④ 食を通じた邑南町との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島県在住の外国の方も対象とした「アグリ&クッキング」の実施 ⇒広島県在住の外国人向け誘客ツアーに変更したため、未実施 	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策</p> <p>(1) 日本遺産認定された石見神楽を外国人観光客に現地で見ってもらうための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 石見神楽なにわ館、広島市内観光案内所等へのパンフレット配架依頼(6月) 国際交流員によるSNSを活用した情報発信(随時) 中国の旅行会社を招聘し、浜田の魅力発見ツアーの実施(10月) 石見神楽の練習見学、衣装着付けほか <p>(2) 訪日外国人受入れ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外クルーズ船誘致の支援 国際交流員による通訳の実施(7、8月) 観光事業者等を対象とした訪日外国人旅行者デモ接客事業の実施(12月~2月) 4事業者5か所 浜田市×邑南町インバウンドセミナーの実施(2月) 参加者:41名 	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策</p> <p>(1) 日本遺産認定された石見神楽を外国人観光客に見ってもらうための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語音声ガイドシステム構築 多言語化された音声ガイドに誘導するQRコードを観光地の看板等に設置(3月設置、令和3年4月稼働予定) 【市内27地点】 【対応言語:日本語、英語、中国語、韓国】 <p>⇒</p> <p>インバウンド対策は、新型コロナウイルスの影響により、当面は休止。国内向けのアフターコロナ対策に重点的に取り組んだ。</p>	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策</p> <p>(1) 浜田市と島根県立大学の共同研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 石見神楽の魅力を効果的に伝えるインバウンド動画の検証 ※インバウンド誘客については、新型コロナウイルスの状況を見て具体的な取組を検討 ⇒夜神楽定期公演の海外向けWebコンテンツ化。 県立大学と観光協会の連携調整 <p>(2) 経済産業省発インバウンド対策サイト</p> <ul style="list-style-type: none"> 「FIND47.jp」へ浜田市の写真を掲載 令和3年9月掲載目標(3件) 					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【都市建設部建設企画課・建設整備課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
23	充実した都市基盤の整備	城山公園等の整備 (令和2年9月)	○	○	○	○	○	○	
		浜田駅周辺整備 ・南北道路の整備 (令和5年頃) ・駅前広場の整備 (令和2年度)	○	○	○	△	○	○	△
		市役所周辺整備 (令和8年度)		△		○		×	
実施した内容			実施した内容		実施した内容		計画		
<p>○城山公園整備 (1)関係機関との協議 ・社会資本整備総合交付金交付決定(5月) ・保安林内作業許可(4月)</p> <p>(2)事業実施 ・発掘調査 ・公園整備、園路、進入路整備 公園整備工事発注(7月) 園路工事発注(7月) 進入路整備工事発注(8月)</p>			<p>○城山公園整備 (1)関係機関との協議 ・社会資本整備総合交付金交付決定(5月)</p> <p>(2)事業実施 ・発掘調査(二ノ門周辺) ・園路整備(9月) ・公衆トイレ整備(9月) ・進入路(浜田川側)整備(12月) ・安全柵整備(令和2年9月予定)</p>			<p>○城山公園整備 (1)事業実施 ・公園施設整備(9月完成)</p>			
<p>○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・踏切詳細設計(昨年度から継続) ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)検討</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・ホテル外関係機関との交渉 ・測量調査設計完了 ・用地買収(1件) ・建物移転補償完了 ・ホテル周辺の水路外工事</p>			<p>○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・踏切詳細設計(昨年度から継続) ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)検討</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・関係機関との協議・調整 ・用地買収(2件) ・駅前広場整備工事 ⇒3月末完成を目指していたが、電柱や信号機の移設に期間を要したため、令和2年7月に完成予定</p>			<p>○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)(9月) ・JR施設工事着手(一部) ⇒JR施設工事着手について、新型コロナの影響により、JR施設的设计及び調整に遅れが生じたため、令和3年度に着手となった。</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)登記完了(11月)</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・関係機関との協議・調整 ・駅前広場整備工事 7月末完成を目指していたが、電柱や信号機の移設に期間を要したため、12月完成</p>			
<p>○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ①公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(未実施) ②国有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催 ・担当者協議実施、連絡会は令和元年5月に開催予定</p>			<p>○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(10月) ・国有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催(5月)</p>			<p>○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(未実施) ・国有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催(未実施)</p>			

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部工務課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
24	基幹管路の更新及び耐震化	基幹管路の更新及び耐震化	△	△	○	○	○	○	○	○
		実施した内容		実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画
		<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画案の作成 <ul style="list-style-type: none"> ①更新路線の選定 ②年次更新計画の策定(6月) <ul style="list-style-type: none"> ・更新計画策定業務委託の発注 ・更新基幹管路の抽出 ⇒旧簡易水道区域を追加したため計画策定期間を令和元年度まで延長 (2)更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路耐震化計画書作成 ・国庫補助要望(11月) ・実施設計業務委託(7月) 		<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画案の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公開(10月) ・年次更新計画(アセットマネジメント)の策定・公表(3月) (2)更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7、8月) ・令和2年度工事箇所的设计業務(7月) 		<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ①管路更新工事情報の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表(8月以降随時) (2)更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7、8月) 約2.1kmの管路更新を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ①管路更新工事情報の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表 (2)更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(6月～) 		

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
25	寒波による断水対策の実施	寒波による断水原因の調査及び断水を起こさないための対策実施										
		実施した内容		実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画		
		項目なし		項目なし		項目なし		項目なし		<ul style="list-style-type: none"> ○断水対策 (1)実態把握および検討 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルによる調査実施(～6月) ・調査報告(8月) (2)施設増強対策 <ul style="list-style-type: none"> ・計画・設計(～6月) ・工事施工(6月～12月) (3)情報連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの充実(～8月) ・止水栓台帳の整備(～9月) 		

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部下水道課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度					
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
26	市街地 下水道 整備	<p>○優先順位を決定し第1期工事区域の事業着手(令和2年度)</p> <p>○第1期工事区域の工事完了(令和9年度)</p>	実施した内容	<p>○都市計画決定(法手続き)</p> <p>(1)関係機関協議</p> <p>①処理場候補地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者及び建物所有者と協議(1月) <p>②優先整備区域及びスケジュール決定(11月)</p>	○	△	<p>○住民説明会等を行い、都市計画決定</p> <p>(1)関係者協議</p> <p>①処理場候補地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者及び建物所有者と協議 <p>(2)説明会、公聴会の開催</p> <p>①整備対象地区の住民説明会を開催(8~9月)</p> <p>(3)都市計画の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市都市計画審議会へ付議(1月) ・県知事法定協議(2月) ・浜田市都市計画決定(3月) 	○	○	<p>○処理場建設に向けた準備</p> <p>(1)処理場建設候補地関係者協議</p> <p>①建物所有者との補償契約(5月契約、11月補償完了)</p> <p>②土地取得に向けた事前準備(河川法等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県と協議(6月) <p>(2)事業啓発</p> <p>①処理場建設候補地周辺住民を中心に、処理施設の説明会・視察を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松原浦漁協説明会(7月、10月) <p>②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報はまだ(9月号) ・浜田商工会議所常議員会事業説明(11月) 	○	○	計画	<p>○処理場建設に向けた準備</p> <p>(1)処理場建設候補地関係者協議</p> <p>①処理場用地の取得</p> <p>②基本設計に着手</p> <p>(2)事業啓発</p> <p>①処理場建設候補地周辺住民を中心に、処理施設の説明会を開催</p> <p>②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動</p>
				<p>○下水道整備事業計画及び都市計画法事業認可</p> <p>(1)計画の確定及び法手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法、下水道法事業認可書類作成 			○	<p>○下水道整備事業着手</p> <p>(1)事業認可、事業計画、設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一四半期に、下水道法の事業計画提出及び都市計画法の事業認可を受け、基本設計に着手 下水道法、都市計画法認可(4月) 基本設計業者決定(7月) 業務着手について区域内の各町内へ回覧による周知(8月) 		○	<p>○下水道整備工事にに向けた準備</p> <p>(1)官民連携手法の導入</p> <p>①導入可能性調査に着手(9月)</p> <p>(2)関係機関への事前協議</p>			

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【金城支所産業建設課・防災自治課・市民福祉課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
27	農業振興	大粒ぶどうの産地拡大		○	○	○	○	○	○	計画	
		実施した内容									
		○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ①リースハウス事業を活用した大粒ぶどうの作付面積拡大 ・国事業を活用し(2件)、1,400平方メートル作付面積拡大(3月)			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ①リースハウス事業を活用した大粒ぶどうの作付面積拡大 ・国事業を活用し(2件)、6,000平方メートル作付面積拡大(3月) ②集出荷体制の強化 ・新開団地内にJA集出荷施設の建設(3月)(鉄骨平屋建192.16㎡)			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ①リースハウス事業を活用した大粒ぶどうの作付面積拡大 ・国事業を活用し(1件)、1,008平方メートル作付面積拡大			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した作付面積拡大1件 1,000平方メートル (2)その他農業振興 ・農福連携の検討 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
28	観光交流	美又保養センター宿泊者の増加		○	○	○	○	△	○	計画			
		実施した内容											
		○観光交流 (1)美又温泉国民保養センターの整備、検討 ・宿泊棟及び本館の改修(3月完了) ・指定管理者を公募(10月～11月) ⇒指定管理者を決定(3月)			○観光交流 (1)美又温泉国民保養センターの整備、検討 ・指定管理者への引継ぎ(6月) ・指定管理施設へ移行し、宿泊再開(7月) 9か月間(7月～3月)実績 入浴者数 37,247人 レストラン 6,420人 宿泊者数 1,151人 (2)観光誘客推進 ・「チームかなぎ」の立上げ(9月) ・合宿等の誘致 ・美肌観光の推進 ・おもてなし研修の実施(2月)	○	○	○観光交流 (1)美又温泉国民保養センターの整備、検討 ・中核施設としての機能発揮 美又新ブランド「やちよ料理」開発 ・利用促進のための駐車場修繕 ・中規模修繕の検討 ・利用実績 ※4/18～5/31休館 入浴者数 32,786人 レストラン 6,532人 宿泊者数 500人 (2)観光誘客推進 ・「チームかなぎ」による情報共有、誘客企画 ・島根県と連携した美肌観光の推進 ・お肌に関する湯治の誘客検討 医学的見地からの調査実施 環境省「チーム新潟治加入」 ・おもてなし研修の実施 ・新型コロナウイルス対策等の取組	△	○	△	○	○観光交流 (1)美又温泉振興 ・保養センターR4-R8指定管理公募・決定 ・医学的調査結果を活用した誘客(湯治など) ・美又新ブランド「やちよ料理」の推進 ・美又温泉会館の改修 ・美又温泉4号井タンク更新 (2)その他観光振興 ・きんたの里R4-R8指定管理公募・決定 ・「チームかなぎ」による情報共有、誘客企画 ・島根県と連携した美肌観光の推進 ・ホースセラピーの推進と誘客 ・おもてなし研修の実施 ・新型コロナウイルス対策等の取組

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
29	公害対応	臭気対策の検討・方針決定							△	計画	
		実施した内容									
		項目なし			項目なし			○公害対応 (1)臭気対策の検討・方針決定 ・臭気対策(支援方針)の検討 ・支援内容の検討 ・専門機関からの情報収集(10月) ・自治会や観光施設へのヒアリング(10～12月) ・畜産臭気対策検討会議(11月) ・環境省補助金調査(1月) ・においセンサーによる調査(2～3月)			○公害対応 (1)臭気対策の検討・方針決定 ・臭気原因特定 ・臭気対策検討 ・支援方針・内容の検討 畜産事業者との協議(4～9月) 畜産臭気対策検討会議(随時)

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
30	庁舎の利活用	歴史資料の展示	○	△	△	○	○	○	○	計画	
		実施した内容									
		○歴史資料の展示 (1)展示する歴史資料の検討 ・岡本基左衛門に関する資料の展示に決定 (2)展示場所、レイアウトの検討 ・庁舎入口で展示を検討したが、展示資料が多いため、展示場所と展示開始時期を再検討			○歴史資料の展示 (1)展示場所、レイアウトの再検討 ・展示場所、開始時期を再検討し、仮展示を開始(11月) ・本展示は令和2年度から実施 ・展示場所は市民ロビーに決定 ・岡本基左衛門研究会実施(10月、1月)			○歴史資料の展示 (1)本展示の実施 ・展示物選定(6月) ・展示物解説資料作成(9月) ・展示開始(10月)			展示

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭支所産業建設課・防災自治課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
31	農業の振興	保全農地の明確化	○	○	○	○	△	○	○	○
		山ノ内梨園の再生	○	○	○	○	△	○	△	○
実施した内容			<p>○農地の保全</p> <p>(1)自治区内保全農地の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後の農地状況調査の実施(1月) ・行政区別農地状況マップの作成着手(3月)(令和元年10月完成予定) <p>(2)坂本地区の農業振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農事組合法人設立支援 <ul style="list-style-type: none"> ・設立総会開催(1月) ②坂本米ブランド化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・真空包装機導入補助(8月) 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)自治区内保全農地の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農地状況調査1次結果のフィードバックによる行政区別問題点の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・行政区別に1次調査結果を配布(12月) ②行政区別の「守るべき農地」の再分析 <ul style="list-style-type: none"> ・再調査終了後、分析開始(2月) 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)自治区内保全農地の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農地保全プラン(単独)の完成(9月) <ul style="list-style-type: none"> ・プランを基とした対策の検討 アンケート内容集計(9月) 人・農地プランの実質化に併せて協議(3月) <p>②実質化した人・農地プラン(国)の作成(10月) <ul style="list-style-type: none"> ・1筆データおよび地図完成(10月) ・人・農地プラン実質化に向けた協議(3月) </p> <p>(2)中山間直払制度第5期対策に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広域集落協定の設立支援 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのコーディネート ・協力団体(まちづくり)との調整(4~7月) ⇒木田広域及び和田広域協定認定(8月) ②ソフトウェアを活用した会計事務支援 <ul style="list-style-type: none"> ・集落農業支援システム運用開始(1月) 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)地域内農地保全の持続化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地区単位での継続協議支援 ②地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ(9月) <ul style="list-style-type: none"> (耐久性畦畔・畦畔除草省力化・耕作道舗装等) ③農地管理マスターデータの整理 <p>(2)中山間直払制度活用に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広域集落協定未実施地区の設立支援 	
実施した内容			<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)現生産者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新技術の導入誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培用稚苗発注(12月)(令和元年12月定植予定) ②担い手の確保に向けたPR <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業へ参入提案の実施(1月、3月) ③継続的な改植推進と支援 <ul style="list-style-type: none"> ・284本の補植を実施(12月) <p>(2)新規入植者への支援(エゴマ等の栽培)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①加工場建設に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事務所兼加工場建設補助(10月) 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)継続的な改植推進と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①改植への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市単・国庫事業導入(改植補助)(3月) ・市単事業導入(ジョイント栽培用大苗育苗補助)(3月) <p>(2)担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者フェア等でのPR 新・農業者フェアin東京(9月、3月) 大手企業へ参入提案の実施(8月、2月) 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①遊休農地の活用検討 <ul style="list-style-type: none"> ・梨プロジェクト協議(8月) <p>(2)担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①担い手の現状把握(継続意向等) <ul style="list-style-type: none"> ・農家聞き取り調査(8月) ・農家アンケートの実施(11月) 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人・農地プランの協議・策定(11月) ・遊休農地活用への検討協議 ・担い手確保への検討協議 	

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
32	観光交流	旭温泉の活性化		△		△		△		△
実施した内容			<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)観光戦略の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①周辺施設との連携(体験型宿泊プランの検討他) <ul style="list-style-type: none"> ・秋祭り夜神楽鑑賞ツアー商品化に向けたデモを実施(10月) ②各施設のロコミ度アップ対策(共同仕入れ、統一食材を使用したメニューの検討支援) <ul style="list-style-type: none"> ・共同仕入れについて、3Dフリーザーによる冷凍試験を実施(2月) ・統一メニューについては、温泉組合であんこう鍋を検討したが、実施に至らず 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)観光戦略の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各施設のロコミ度アップ対策 <ul style="list-style-type: none"> ・統一メニューの検討継続 ⇒温泉組合で協議したが、実現には至らなかった(8月) 若手従業員による検討会(1月) ②秋祭り夜神楽鑑賞モニターツアー実施(10月) 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若手従業員との意見交換会実施(6月) <ul style="list-style-type: none"> ・美肌観光のコンテンツ作成、実施 すっぽん粉末の完成(2月) すっぽん粉末を活用した商品検討(3月) ・近隣施設(美又温泉等)との連携検討(県美肌事業要件変更のため、未実施) ②ロコミ度アップ対策 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的なコンテンツ情報の発信 旅館組合HPのリニューアル検討(10月) ・評価サイト等への対応についての勉強会実施(コロナのため、未実施) ③新型コロナウイルス対策等の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ステッカー、のぼり旗設置(7月) 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①温泉PRプロジェクトの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・PR商品の作成支援 ②ロコミ度アップ対策 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉組合HPのリニューアル実施 	

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
33	庁舎の利活用	歴史民族資料の展示(令和2年10月)	○	○	○	○	○	○	○	展示
実施した内容			<p>○歴史民俗資料の展示</p> <p>(1)資料展示物の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料を決定(6月) </p> <p>(2)展示スペースのレイアウト設計 <ul style="list-style-type: none"> ・設計完了(3月) </p>		<p>○庁舎の改修工事</p> <p>(1)工事着工(1月) <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月頃に展示開始予定 </p>		<p>○歴史資料の展示</p> <p>(1)庁舎改修工事の完了(10月) <ul style="list-style-type: none"> ・展示物の再検討 </p> <p>(2)展示の開始(11月) <ul style="list-style-type: none"> ・市民等への広報 </p>		<p>展示</p>	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【弥栄支所産業建設課・防災自治課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
34	観光の振興	ふるさと体験村の在り方の整理と新体制での運営開始(令和3年4月)								
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○直営による施設運営 <ul style="list-style-type: none"> (1)再生のための重点項目 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の拠点施設としての活用推進 ②安全安心な食文化の再構築 ③体験・交流の推進 (2)施設運営 <ul style="list-style-type: none"> ①部門別の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・管理、宿泊、浴場、体験事業 →直営による運営 ・食堂、特産品販売 →地元業者へ委託 	△	×	×				
		<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 直営は9月30日をもって休止 								
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の検証 <ul style="list-style-type: none"> (1)検証委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ①目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと体験村の経営再建に向けた協議 ②委員会構成:外部委員7名、内部委員4名 ③設置期間:4月～7月 (2)検証事項 <ul style="list-style-type: none"> ①組織について <ul style="list-style-type: none"> ・公社一連の不祥事や組織体制を検証し、今後の運営について提言 ②経営について <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画や部門収支の状況を検証し、今後の運営について提言 	○	○	○				
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の在り方整理 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設目的の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 (2)部門別の公益性・収益性を判断 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 (3)地域との関り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 	○	○	○				
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の方針を決定 <ul style="list-style-type: none"> (1)運営体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の在り方整理の内容を踏まえて、指定管理者制度により、対象施設を限定した運営方針案を作成 (2)新体制による運営に向けたスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者選定のスケジュール案作成 →当初は令和元年度の再開を計画したが、休止期間を令和元年度末までに延長 	○	△	△				
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと体験村の運営再開準備 <ul style="list-style-type: none"> (1)体験交流事業の推進方針検討 <ul style="list-style-type: none"> ①プログラムの洗い出し <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの試行 ②専門家との調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家との協議を行い、先進地事例の情報収集を実施 ③提供者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム及び外部講師による研修を実施し、提供者となりうる地元住民を育成 (2)指定管理業務仕様の検討 <ul style="list-style-type: none"> ①外部意見を参考に、業務内容を整理 <ul style="list-style-type: none"> ・活用方針案、サウンディング型市場調査などを踏まえ、業務内容を整理 ②指定管理者選定に係るスケジュール管理 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月再開を令和3年4月に延期 →地元団体への指名を検討したが、透明性を確保するために公募による選定とすることに決定 (3)再開に向けた改修 <ul style="list-style-type: none"> ・公募の動向を踏まえて改修する方針に変更 	○	△	△				
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年4月の運営再開に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> (1)指定管理者の公募及び決定 <ul style="list-style-type: none"> ①公募の実施(4～6月) ②指定管理者の決定(9月) ③業務引継ぎ <ul style="list-style-type: none"> ・公募を実施したが指定管理者の決定に至らず (2)体験村の運営に向けた地域住民との連携体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ①弥栄地域を核とした体験プログラムの提供体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・提供体制を構築し、地元団体主体による体験プログラムの提供を開始 ②指定管理者と地域住民(体験プログラム提供者)とのマッチング <ul style="list-style-type: none"> ・上記(1)のとおり、指定管理者の決定に至らなかったため、実施延期 (3)その他の再開準備等 <ul style="list-style-type: none"> ①修繕・改修の実施 ②広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・所要経費の積算は行ったが、上記(1)のとおり、指定管理者の決定に至らなかったため、実施延期 	△	△	△				
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年4月の運営再開に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設活用方針の見直し(4月) <ul style="list-style-type: none"> ①施設の在り方の明確化 ②活用基本計画の決定 ③条例改正の検討 (2)管理運営体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ①地元団体の設立支援(4月) ②指定管理者の選定(9月) ③業務引継ぎ (3)その他の再開準備等 <ul style="list-style-type: none"> ①指定管理業務仕様書の検討(6月～) ②施設改修費の積算(4月～) 							

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
35	農業振興	農業最適化								
		実施した内容	項目なし		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守る仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 法人連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 組織の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・法人の連携方式が合併方式か検討 ・5法人連携での取組開始を決定 ② 設立準備委員会の設立 <ul style="list-style-type: none"> ・新組織の設立準備会設立 ③ 農業最適化計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・機械、担い手の効率化 ・作目の検討(米での収益試算) ④ センチビードグラスの吹付実施 <ul style="list-style-type: none"> ・4.0ヘクタール(昨年度:2.6ヘクタール) ・他集落への普及推進 令和2年度に4集落で実施予定 西の郷集落ではほぼ全体で実施 ⑤ ドローン共同防除の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・75.3ヘクタール(昨年度:67.1ヘクタール) ・体制強化 ⑥ 除草ロボットの導入検討 <ul style="list-style-type: none"> ・導入の仕組みづくり、講習会実施 (2) 青年部会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の担い手育成 ・ワークショップの開催 (3) 野菜生産者協議会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 共同出荷の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・江津への販売推進 ② 共同調整の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・共同調整組織の検討、視察 	<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守る仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 集落営農組織の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 広域管理組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・新体制での取組に向けた仕組みづくり ・令和4年度からの新体制開始に向けて協議を実施 ② 集落毎の人・農地プランの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 ・令和3年度作成に向けて状況把握のため集落巡回を実施 (2) 農作業の省力化 <ul style="list-style-type: none"> ① センチビードグラスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・6.8ヘクタール ② ドローン共同防除の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・95.5ヘクタール ③ 除草ロボットの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・要望調査、作業体制の構築 ・地元団体が導入済(9月) 各集落を巡回し、要望調査及び作業体制の構築に向けて活動を実施 (3) 高収益作目の導入検討 <ul style="list-style-type: none"> ・水稲と共に水田を守る作目の検討 ・(1)①の中で導入に向けて協議を実施 (4) 圃場整備事業との連動 <ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備実施に伴う管理体制の構築 ・圃場整備推進協議会の設立 杵束地区(1月) 安城地区(2月) (5) 青年部会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ・体験交流事業などへの協力 ・草刈研修会を実施(2月) (6) 野菜生産者協議会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 共同出荷の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フェアの開催 ・地元団体との連携による共同出荷の協議を開始 ② 共同調整体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備が困難なため当面見送り 	<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守る仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 集落営農組織の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 広域管理組織の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からの一本化に向けた支援 ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・設立解散の事務手続き ② 集落毎の人・農地プランの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・集落での話し合い支援(集落巡回) ※対象23集落 ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 (2) 圃場整備事業との連動 <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物導入品目の絞込み(担い手の経営安定に繋がる品目) (3) 農作業の省力化 <ul style="list-style-type: none"> ① センチビードグラスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ② ドローン共同防除の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ③ 除草ロボットの運用 <ul style="list-style-type: none"> ・オベの育成 ・要望調査の実施 ・運用開始(9月) (4) 捕獲した有害鳥獣の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ① 全市的な搬入確認受入に向けた試行 <ul style="list-style-type: none"> ・受入地区・受入時期・受入体制を限定して実施 	計画	

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
36	庁舎の利活用	文化財や民具の展示								
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財や民具の展示スペース設置 <ul style="list-style-type: none"> (1) 設置箇所の選定(11月) <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄支所2階(旧教育委員会室)を利用 ⇒弥栄会館1階喫茶室へ変更 (2) 展示資料の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の展示室から厳選したものを展示 ⇒弥栄会館1階喫茶室で展示開始予定(令和元年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財や民具の展示 <ul style="list-style-type: none"> (1) 設置レイアウトの検討 (2) 展示資料の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の展示室から厳選したものを弥栄会館に展示(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○展示 	実施した内容				

【三隅支所防災自治課・産業建設課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
37	産業振興	石州和紙会館の新体制構築(令和2年度)		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ①指定管理者の検討、協議 ・指定管理を想定する事業者と協議したが、断念 ・次年度も指定管理再開に向けての検討・協議を継続		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議 ⇒参考施設のビックアップ、アンケート、現地視察を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議	
		檜の生産量増加		○	○檜栽培の産業化の調査・検討 (1)新規檜栽培者の確保 ・新規栽培者3名(栽培面積:30a)を確保 (2)檜栽培、加工等の技術研修実施(3月)		○	○檜栽培の産業化の調査・検討 (1)新規檜栽培者の確保 ・新規栽培者4名(栽培面積33a)を確保 (2)檜栽培、加工等の技術研修実施 ・檜栽培研修会実施(3月)		○	○檜栽培の産業化の調査・検討 (1)新規檜栽培者の確保 (2)檜栽培、加工等の技術研修実施	
		収穫形態の多様化による西条柿の生産性向上		○	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施の検討 ・平成31年実施に向けて検討 (2)観光農園の実施の検討 ・5名参加(2日間開催) (3)収穫ボランティアの活用 ・32名参加(6日間開催)		△	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の検討・実施 ・応募:9オーナー(10本) ・柿木選定・摘果作業実施(7月) ・収穫作業(10~11月) (2)観光農園の実施 ・応募者がなかったため中止 ⇒理由は、柿オーナー制度や収穫ボランティアへ応募者が流れたためと考える。次年度以降は、柿まつりに合わせて開催するなど、実施方法を検討する。 (3)各種作業ボランティアの検討・実施 ・摘果ボランティア 10名(5月) ・収穫ボランティア 33名(10~11月) ・皮むきボランティア 7名(11月)		△	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施 ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 (2)収穫・合わせ柿体験の検討・実施 ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 (3)各種作業ボランティアの実施 ・摘果ボランティア(5月) ⇒新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・摘果ボランティア(7月) ・収穫ボランティア(10~11月) ⇒生理落果により収穫量が見込めず、ボランティアの協力要請がなかったため中止	

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
38	庁舎の利活用	石州和紙会館で和紙道具を展示(令和2年度中)		○	○石州和紙会館での和紙道具の展示 ・既存の会館内で展示開始(4月) ・ユネスコ和紙展に合わせて展示替え(10月)		○			
		三隅支所内で生活用具を展示		△	○三隅支所内での昔の生活用具の展示 (1)歴史・文化学習コーナー(仮称)の設置 ・施設改修の検討 ・関係部署との調整 ・支所内執務室の配置検討 ⇒支所1階で展示開始予定(令和元年9月) (2)歴史民俗資料館の在り方検討 ・地域協議会等、住民の意見聴取・集約 ・関係部署との調整 ⇒在り方検討の方針未決定		○	○三隅支所内での昔の生活用具の展示 (1)歴史・文化学習コーナー(仮称)の設置 ・関係部署との調整 ・支所内執務室の配置検討 ・支所1階で展示開始(10月) (2)歴史民俗資料館の利活用 ・関係部署と利活用策について協議 ⇒支所での展示を見てもらうための工夫が必要		△

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【教育部学校教育課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
39	高校魅力化コンソーシアム	魅力ある学びによる人づくり及び取組による地域活性化	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	計画	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムの運営 ・役員会の開催(5/13) →令和3年度の事業計画の決定 ・人材バンクの設置及び関係者との調整 ・学校と地域の協働事業のコーディネート ・令和4年度以降の事業検討 →実践者からの指導、助言 (2)市の独自支援策の検討 ・中学校への訪問(ヒアリング実施) ・市内高等学校への進学状況の分析・課題抽出 ・独自の支援策の検討